

「自分で考え、自分を選ぶ」 こどもの未来を育む服装の選択制

～ 多様性を認め合い、安心して学べる学校へ ～

杜の里小学校 令和8年2月

1 なぜ今、服装の選択制なのか

これまでの「当たり前」から、
これからの「学び」へ。

社会の変化： 国の指針やジェンダー平等の推進

こころの健康： 体型や性自認への悩みに寄り添う

生きる力： 「今日何を着るか」から始まる主体性

「みんな同じ」で安心する段階から
「違って大丈夫」と信頼し合える 段階へ

※本校は「完全私服化」を目指すのではなく、「標準服も私服も選べる」という選択肢の拡大を提案しています。

多様性の尊重

主体性の育成

個別対応の「むずかしさ」【多様性】

■現在の対応

- ・保護者、本人と学校が相談⇒個別対応を合意

■むずかしさ

- ・個別対応を受けている子どもは「特別な子」
「普通の子」と「特別な子」
- ・声をあげることもできず、がまんする子・保護者

規則や制度の見直し

■規則や制度の見直し

⇒「特別な子」でなくなる

⇒自分はどうしたいか？ 自分で考え、自分で決める

■自分らしくいられる子どもの権利

⇒ウェル・ビーイング

ありのまま ありがとう なんとかなる やってみよう

2 何がどう変わるのか(具体的な選択肢)

標準服の自由

性別に関わらず、スラックス・スカート・半ズボンを自由に選べます。



私服の選択

標準服の代わりに、動きやすく学習に適した私服での登校が可能です。



安全帽子の選択

帽子も、お子様の好みや日差しの状況に合わせてハット型・キャップ型を選べます。



3 学校生活でのマナーとルール ガイドラインの提示

「何でもあり」ではありません。学習の場にふさわしい服装を指導します。

安全面

- ・遊具に引っかかる長いひも、フードは控える
- ・サンダルや厚底靴など、運動に適さない靴は避ける

学習面

- ・大きな音(シャカシャカ)が鳴る、過激すぎるデザインは避ける
- ・名札は校内で着用する

TPO (時と場面)

- ・儀式(卒業式等)は標準服または準ずる服を推奨
- ・体育は指定の体操服に着替える

「活動しやすさ」と「周りへの配慮」を大切にします

4 試行期間中のこどもたちの様子

こどもたちのポジティブな声

- 「その日の気温に合わせて選べるから快適！」
- 「好きな色の服を着ると、学校が楽しくなる」
- 「友達が自分と違う服でも、それが普通になった」
- 「自分の意見を大事にされている気がする」



学年が上がるにつれ、標準服を好む傾向も見られます

5 ご懸念への対応:いじめ・格差について

「服装がきっかけでいじめが起きないか？」

【学校の考え】

いじめの原因は「服装の違い」そのものではなく、「違いを攻撃していい」という心の土壌にあります。

服装を統一して隠すのではなく、「**違いがあるのが当たり前**」という人権意識を育てる授業を並行して行います。

教育活動の強化

- 全校での多様性・人権学習の実施
- 「相手を尊重する言葉遣い」の指導
- トラブルの早期発見・早期対応の徹底

5 ご懸念への対応: 経済的負担について

「私服を揃えるのが大変」

私服を新調する必要はありません。今お持ちの服で十分です。むしろ、成長の早い小学生にとって、高価な標準服を買い直す負担を減らすことにも繋がります。

リユース事業の活用

育友会と連携し、標準服のリユース(お下がり)をより利用しやすい仕組みを整えます。必要な方が手に取れる環境を目指します。

保護者の方の「負担増」にならない運用を、共に考えてまいります

5 ご懸念への対応:一体感・帰属意識

「揃える一体感」から「認め合う連帯感」へ

同じ服を着ることで得られる「安心感」も大切ですが、これからの時代は「背景が違う人とも手を取り合える力」が求められます。

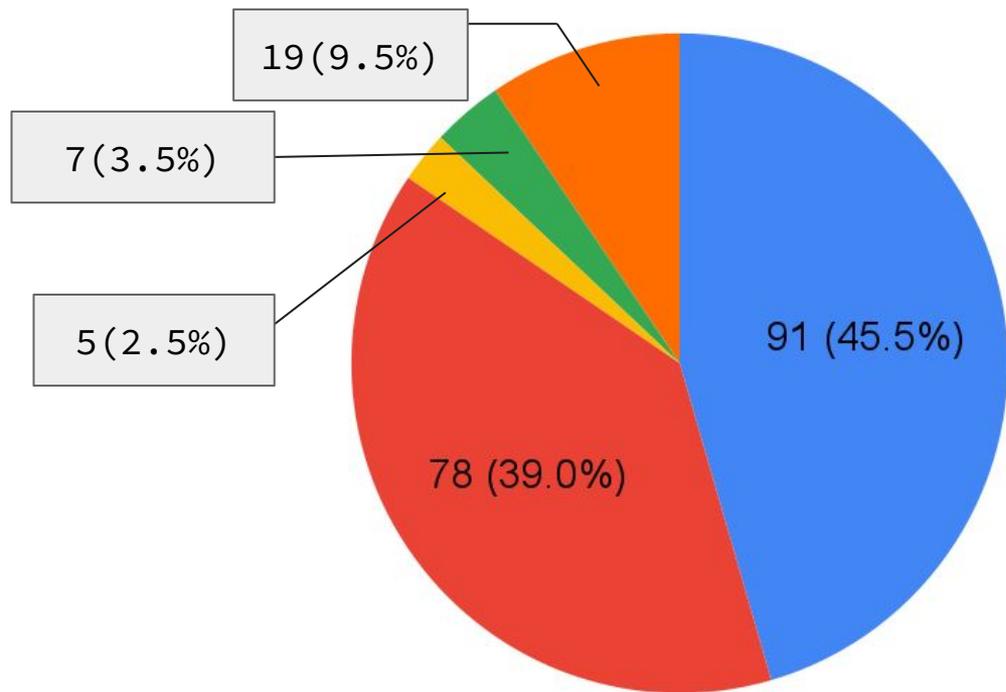


保護者アンケート

令和8年1月22日～26日

回答数200名

服装の選択制によって、子どもが自分らしく安心して学校生活を送っていますか。【目的1：多様性の尊重】



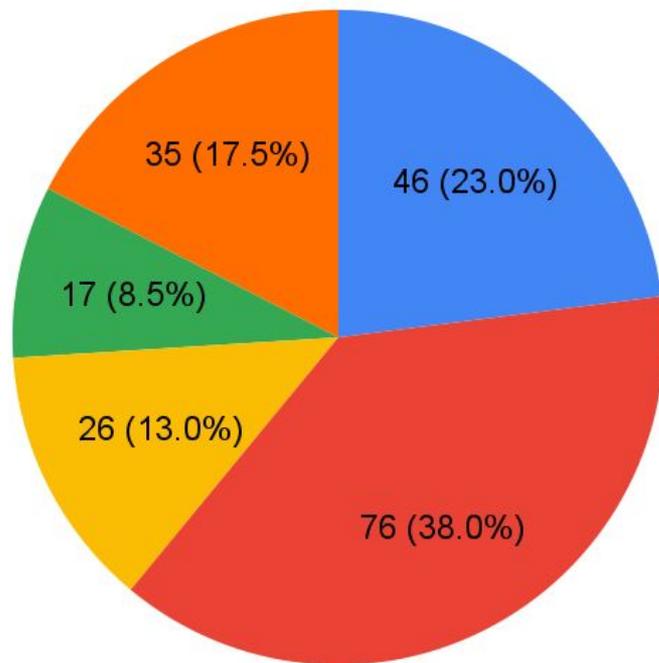
肯定的回答
約 85%

否定的回答
約 5%

わからない
約 10%

- そう感じる
- どちらかといえばそう感じる
- どちらかといえばそう感じない
- そう感じない
- わからない

服装の選択制によって、子どもが自分事として考える力や判断する力がついてきましたか。【目的2:主体性の育成】



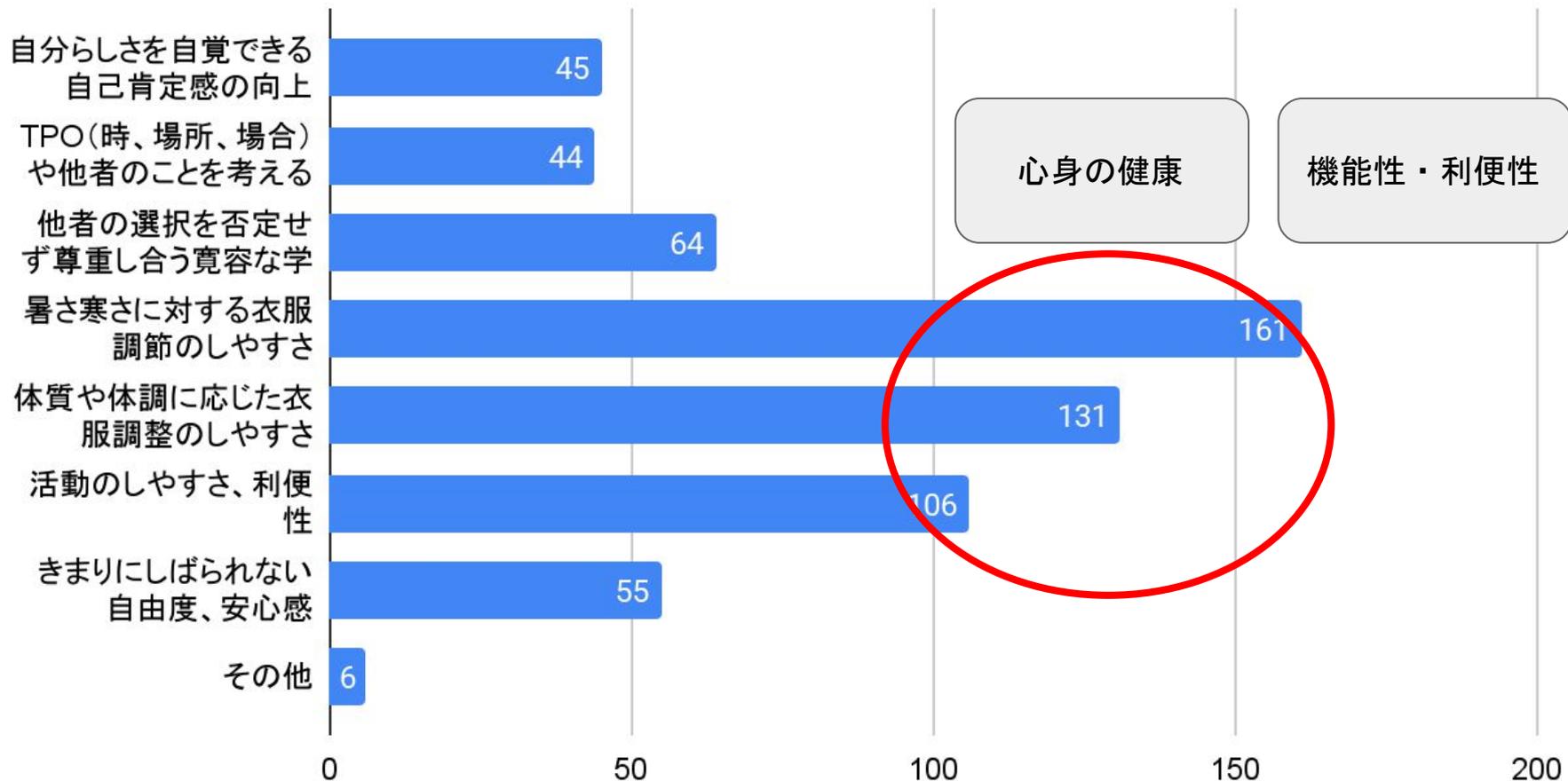
肯定的回答
約60%

否定的回答
約20%

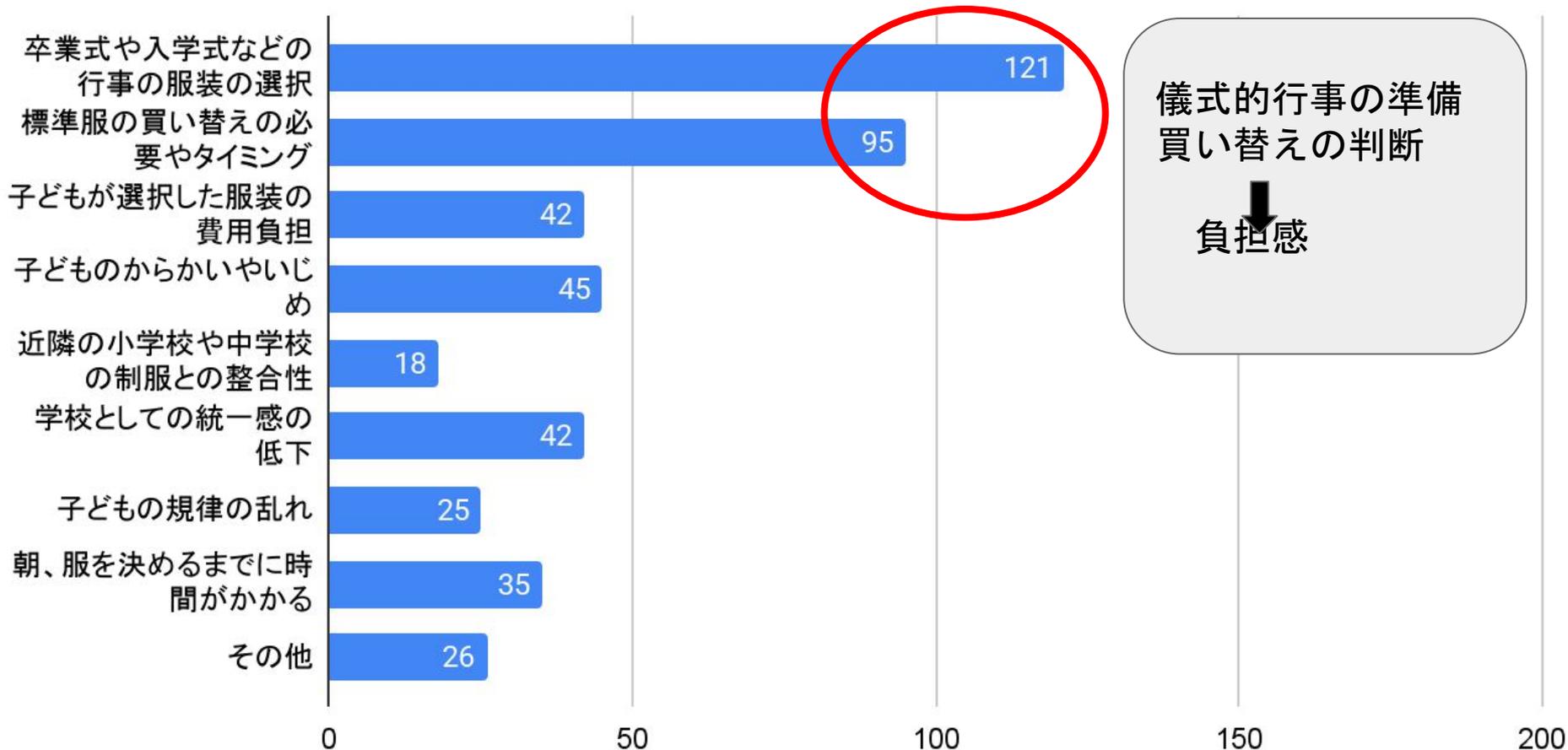
わからない
約20%

- そう感じる ● どちらかと言えばそう感じる ● どちらかと言えばそう感じない ● そう感じない
● わからない

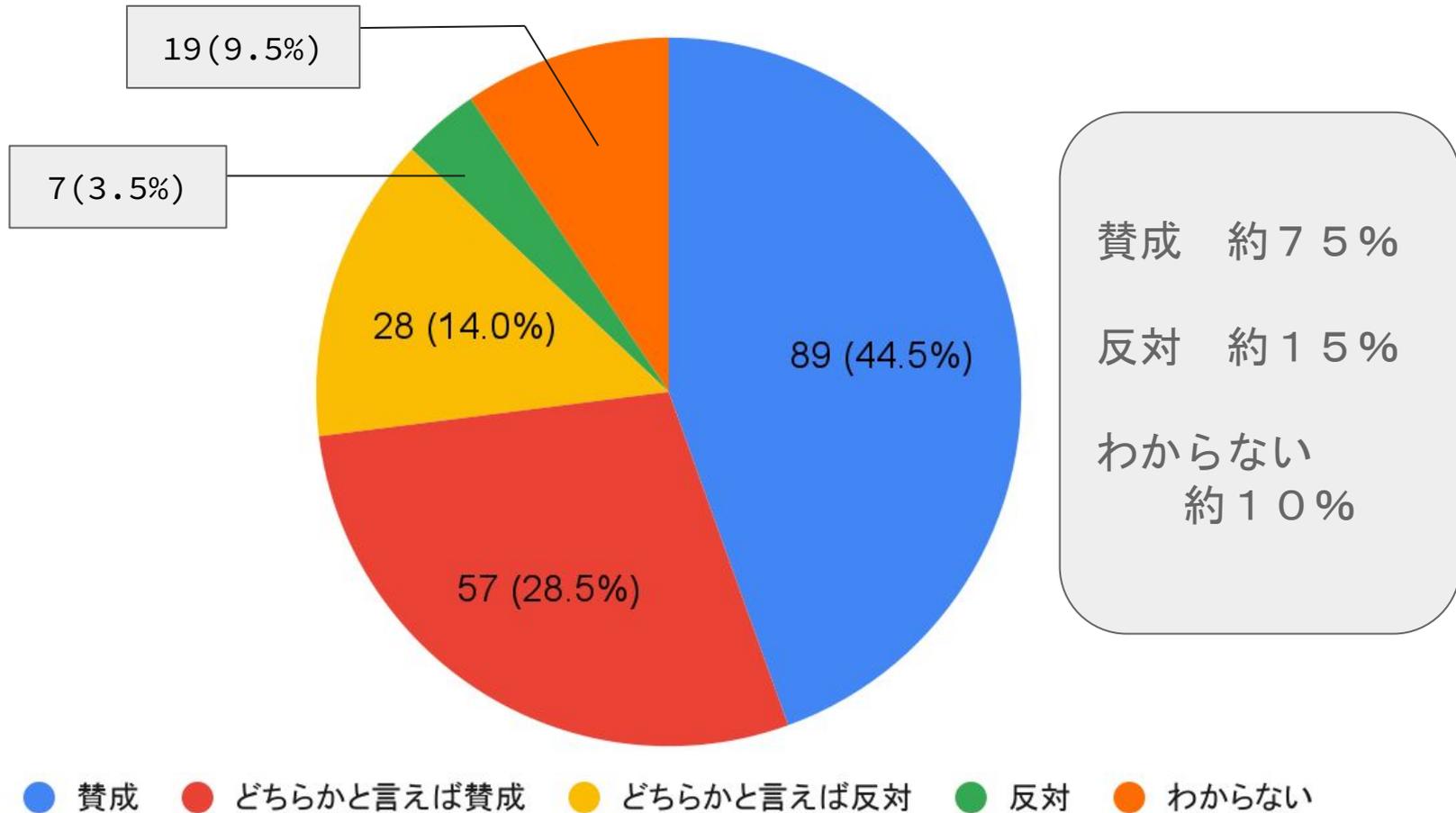
服装の選択制の導入で、期待できることは何ですか【複数回答】



服装の選択制の導入で、心配していることは何ですか。【複数回答】



服装の選択制に賛成ですか 反対ですか

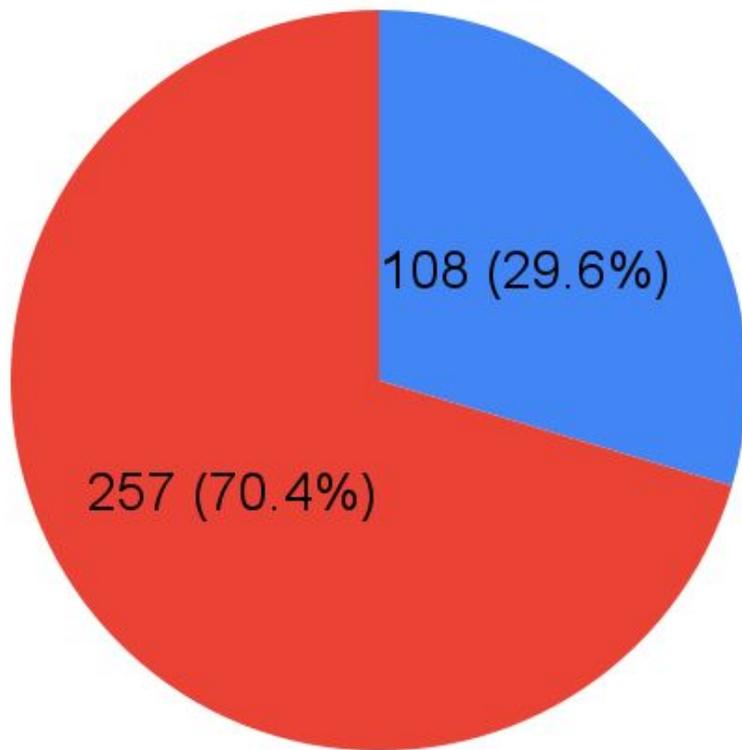


児童アンケート

令和8年1月19日～21日

回答数372名

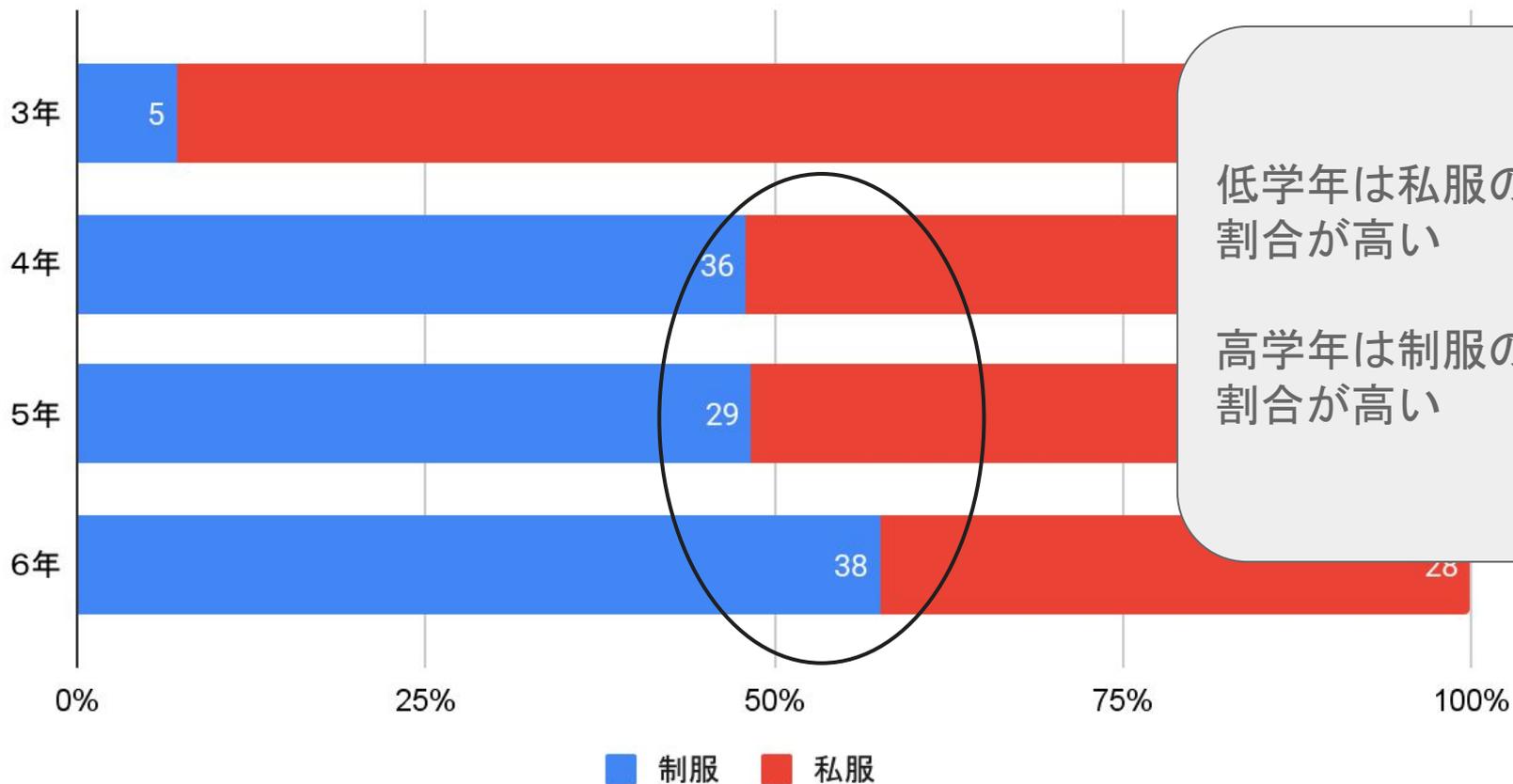
今日の服装はどちらですか



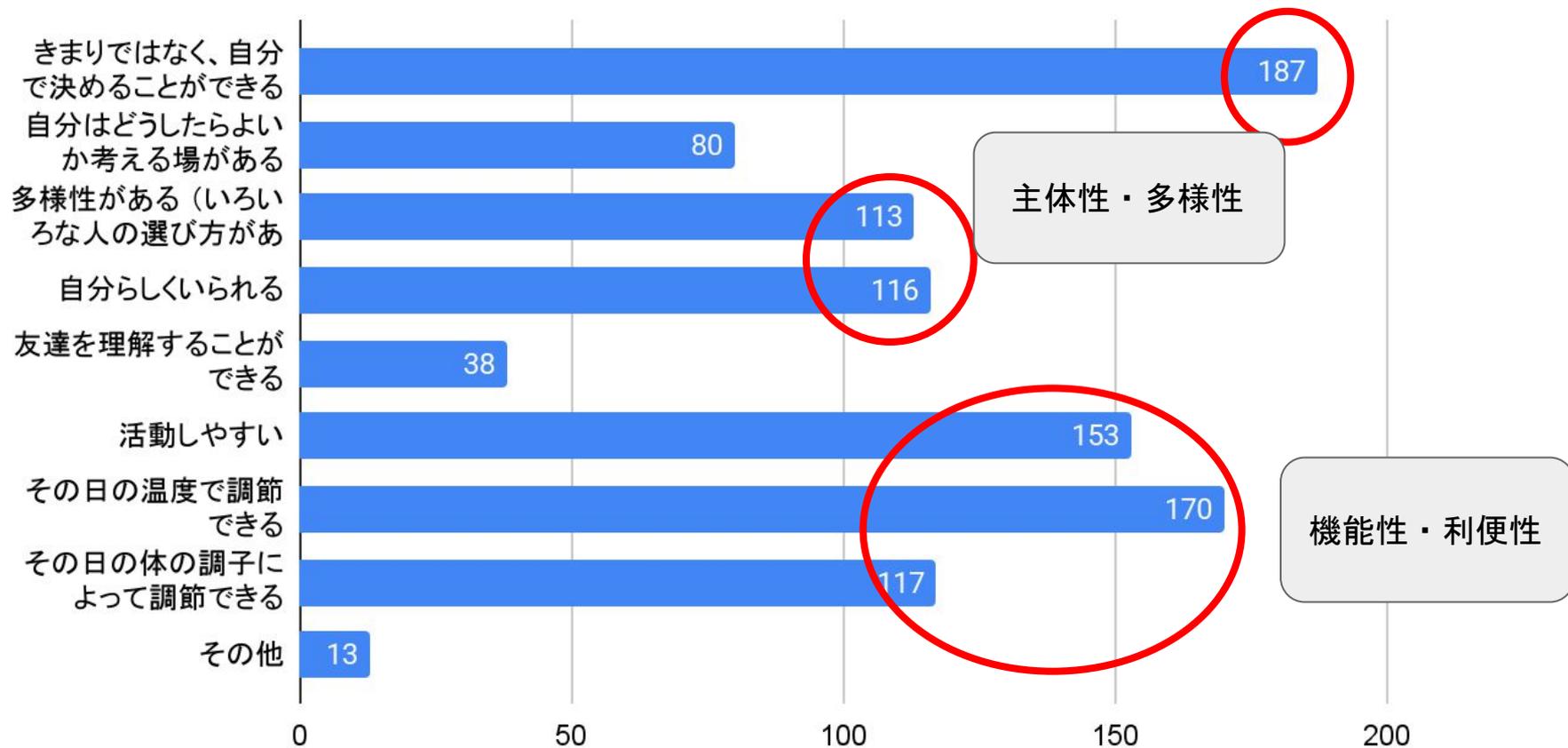
制服 約30%
私服 約70%

● 制服を選んでいる ● 私服を選んでいる

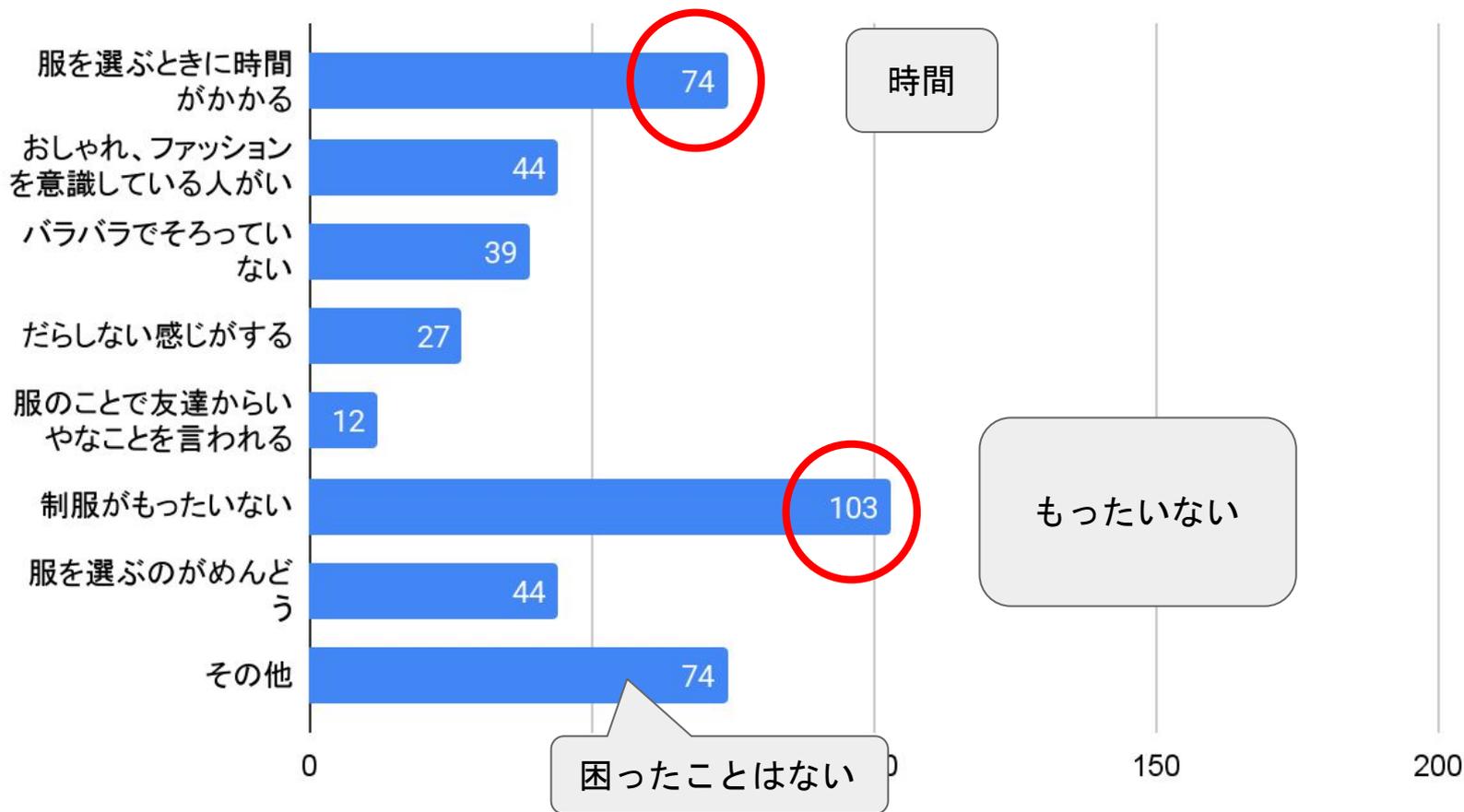
学年別 制服と私服の割合



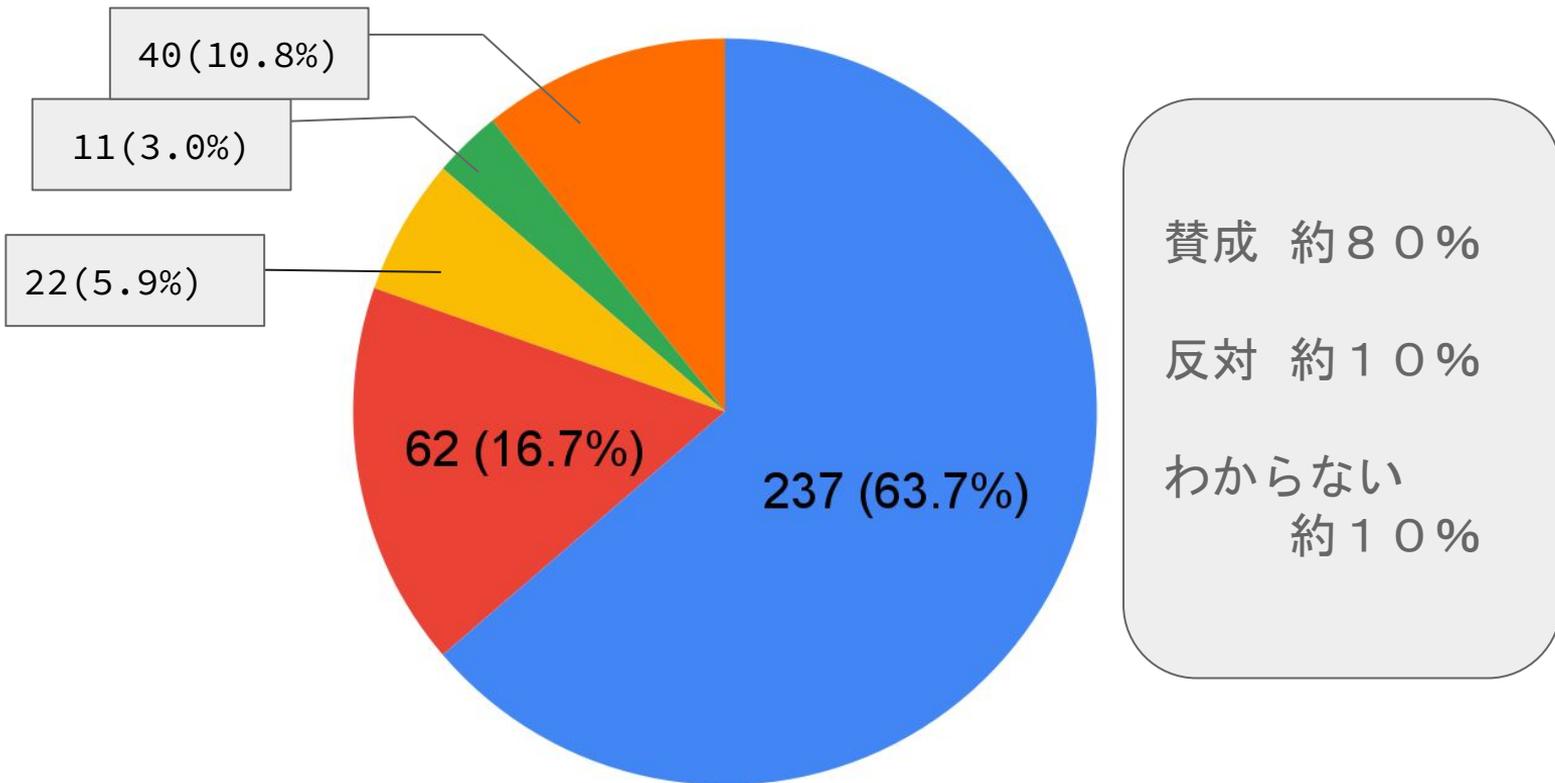
服装の選択制のよいところ



服装の選択制で困ったこと



服装の選択制に賛成ですか 反対ですか



- 賛成(さんせい)
- どちらかと言えば賛成(さんせい)
- どちらかと言えば反対(はんたい)
- 反対(はんたい)
- わからない

検証1 「自己決定」がもたらすポジティブな変化

児童は「きまりではなく自分で決めることができる」という点に高い価値を感じており、主体性の育ちが見られます。

また、気温や体調に合わせて機能性・利便性を考え、自ら服装を調節する姿も確認できました。

保護者の約60%が子どもの主体性の育成に期待できると肯定的な回答があります。

検証2 多様性の尊重と心の安心感

保護者の約85%が、この制度によって「多様性の尊重」への効果を感じています。

児童からも「友達と服が違ってそれが普通になった」という声があり、違いを認め合う土壌が育ち始めています。

自分らしく安心して学校生活を送ることができると感じています。

多様性や他者の選択を尊重するよさを感じています。

検証3 「標準服」の価値の再認識

一方で、高学年ほど標準服を好む傾向や、今ある制服を「もったいない」と大切に思う児童も多く存在します。

儀式的行事には場にふさわしい服装が必要と考えている児童が多く存在します。

私たちは「完全私服化」ではなく、あくまで標準服も私服も選べる「選択肢の拡大」が、子供たちの安心に繋がると確信しています。

アンケートから見えてきた保護者の声

「儀式的行事にふさわしい服装の基準がわからない」

🔄 判断の難しさ

「一度きりのために新調するのは負担」

🔄 経済的側面

「一人だけ浮いてしまったらどうしよう」

🔄 周囲との調和への不安



検証4 保護者のご懸念(経済的負担・行事)への対応

アンケートでは儀式的行事の服装や買い替えの判断について心配の声も寄せられました。

リユースの推進：

育友会と連携し、標準服のリユース(お下がり)を利用できる仕組みを整え、経済的負担を軽減します

適切なTPOの指導：

「何でもあり」ではなく、卒業式等の儀式では標準服やそれに準ずる服を推奨するなど、時と場面に応じた指導を継続します。

■お詫び

このページに掲載していましたが、情報に誤りがありました。関係各位様にご迷惑をおかけし申し訳ありません。

詳細をお知りになりたい場合は、金沢市子育て支援課または制服バンク石川さんへ直接お問い合わせいただきますようお願い申し上げます。

令和8年3月3日

杜の里小学校長 寺西 陽一



儀式的行事における考え方

1. 「標準服」は、最も安心して正装にふさわしい選択肢です

迷われた際は、標準服を着用していただくことが、最も確実に安心な選択肢であることに変わりはありません。

今回の制度変更は「標準服を否定する」ものではなく、「標準服という正解を持ちつつ、他の選択も認める」ものです。

2. 「TPO(時・場所・場合)」を学ぶ教育の機会と捉えます

卒業式や入学式は、感謝や決意を伝える「儀式」の場です。学校では児童に対し、「自分の好きな服」だけでなく、「その場にふさわしい(相手に敬意を表す)服装」を考える指導を行います。これまでも他者の選択を尊重する指導を行ってきました。

令和8年1月22日

5, 6年生保護者様

金沢市立杜の里小学校
校長 寺西 陽一

卒業証書授与式の服装等のお願い

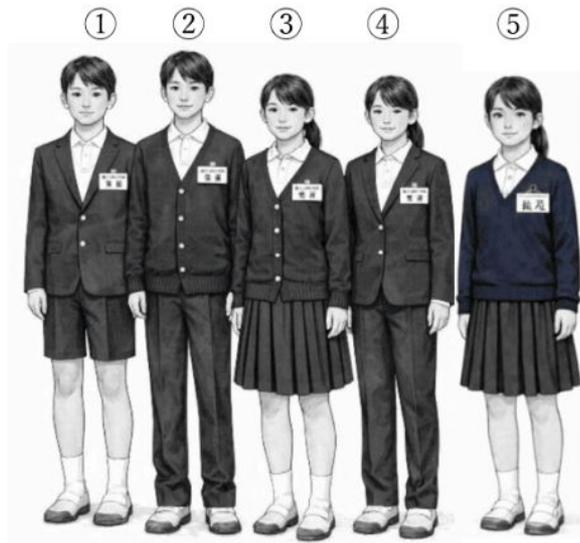
保護者の皆様におかれましては、平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、卒業式という大切な節目を迎えるにあたり、当日の児童の服装につきましてご配慮とご協力をお願いいたします。服装については、以下の項目になります。ご不明な点等がございましたら、担任までお問い合わせください。

■私服を選択した場合の例

- ・儀式にふさわしい、清楚な服装
- ・上着やカーディガン、セーターは、黒・紺・グレーなどを基調としたもの
※上着の中は、白の襟付きシャツ・ブラウス・ポロシャツなど
※手を下げたときに、しっかり手が出る袖丈のもの
- ・スラックスやスカート、半ズボンは、黒・紺・グレーなどを基調としたもの
- ・靴下やタイツは、白・黒・グレーなどの無地に近いもの
- ・ネームは、必ず身につける
- ・中学校の制服を着用してもかまいません
※内ばきも中学校のものを使用してもかまいません
- ・頭髮は、華美にならないようにする
- ・髪の長い児童は、お辞儀をした際に顔にかからないよう、髪を結ぶ

服装のイメージ



- ① ブレザーと半ズボンの組み合わせ
- ② カーディガンとスラックスの組み合わせ
- ③ カーディガンとスカートの組み合わせ
- ④ ブレザーとスラックスの組み合わせ
- ⑤ Vネックセーターとスカートの組み合わせ

こどもの「今」を支え、 「未来」を育むために。

この取り組みは、学校だけで完結するものではありません。
ご家庭での会話、地域での見守り、そのすべてが子供たちの豊かな選択を支えます。
不安な点があれば、いつでも共に考えさせてください。

ご清聴ありがとうございました